

Amir Tsarfati 氏 中東情勢スペシャルアップデート 2018年 9月 2日公開

ダマスカス、大規模攻撃

(日本時間 9月2日午後2時頃～ヨハネスブルグ 9月2日午前7時頃～)

無断転載禁止

.....
こんばんは、おはようございます。こちら南アフリカは朝です。

昨夜の間にシリアで起こった事に関して、皆さんも、最新情報を知っておく必要があると思いますので、この数時間の間に、シリアで起こった事についてアップデートを行います。

事実と反する報告や、間違った情報が多く出回っています。また、非常に異常な事が起こった事を、皆さんが理解しておく必要があると思います。ですので、その背後にある理由、また、何が攻撃されたのかについて、ご説明します。

まずダマスカス時間の午前2時ごろ、大規模な攻撃がありました。

イスラエルの戦闘機と地对地ミサイルが、合わせて、異なる6つの標的を攻撃しました。

シリア空軍の主要空軍基地、ダマスカス近郊にあるアル・メッセ空軍基地だけではなく。スワイダー近くのハルハラ空軍基地、アル・ディマスの第四師団、カラムーンにあるイランの前哨地、カタナーの第十師団、キスワ近くの第一師団、異なる6箇所、全てはイランのシリア国内での活動に関連しています。

数時間前だったと思います。私は、イスラエルは、それを容認しないとお伝えしました。そして、確かに私達は容認しませんでした。しかしながら、皆さんの多くがご存じないのは、その舞台裏にある事です。すでにいくつかのところで掲載されているので、お伝えしても問題ないと思います。

イスラエル諜報が、はるばるイラクからシリア国内に入って来る、極めて異常な活動を探知しました。そして先週、イラン国防相がシリアを訪れた際、彼の飛行機の隣に、大型貨物機も来ていました。彼が言うには、

「誰も私を攻撃しないから、私が行く時に、一緒に持って行こう。」

その、巨大貨物機に何が入っていたか、彼が、はるばるイラクから何を移動させて来たのか、我々は、正確に把握していました。

私達は、彼らが全て荷下ろしし、それぞれ異なる場所に入れるまで待ちました。

そして数時間前に、我々は、全てを破壊しました。

それは、一体何だったのか？

これらは北朝鮮製の弾道ミサイルと、それから、イラン製のミサイルに装着する為の北朝鮮製のエンジンでした。

このエンジンは、加速させるだけでなく、射程距離を現在のものよりもはるかに伸ばします。そして、イスラエルがそれを探知し、この全貌が露呈した事にイランが気づき、彼らは、これらすべてのロケットを、こっそりとイラクに戻し始めました。

つい先ほど、イランが弾道ミサイルをイラクへ送っていると、皆さんが聞いた時、実は、イラクからシリアに移送されていた同じものが、それが露呈されると彼らが気づくやいなや、直ちに、彼らは、それらを送り返したのです。皆さん、これは非常に興味深い事です。

次に、イスラエルの攻撃に続いて起こった事を、よく聞いてください。

第四師団を指揮していたマヘル・アル＝アサド総督が、この攻撃で重傷を追いました。

彼は、バッシュール・アル＝アサドの弟です。彼以外にも、イランの上級高官達も重傷を負っています。それが、あまりにも酷かった為に、彼らは、ロシアの介入が必要でした。ダマスカスの裕福な郊外周辺一帯に、ロシアの特殊部隊が配置されました。それらが道路を遮断し、戦車が通りを巡回し、ヘリコプターは、爆破現場で負傷、または死亡した上級高官たちを、次から次へと運んでいました。つまり、大規模な大攻撃です。イスラエルが行なった可能性は大。



Figure 1 マヘル・アル＝アサド

私が思うに、いくつかの標的では、我々の戦闘機を使用しましたが、別のところでは、イスラエルの戦闘機がロシアの防衛システムに攻撃される危険を軽減するため、我々は、エクストラと呼ばれる、最新の地対地ミサイルを使いました。これは、長距離ミサイルではありません。射程距離は、たったの 120km です。正確にお伝えしましょう。エクストラの射程距離は 150km、しかし、弾頭重量は 120kg。これは、非常に破壊力の強いロケットです。

ということで皆さん、イスラエルが、非常に大規模な攻撃を行いました。アメリカが、シリアの標的について語っていたので、最初、シリアはアメリカが攻撃したと考えました。当初の未確認報告では、アメリカが、シリアを攻撃したとなっています。しかし、それからすぐ、これはアメリカではないと彼らは気づき、イスラエルが、彼らの鼻先でそれを行なった事に、ものすごい屈辱を受けました。

そこでシリアの国防省は、非常につまらない報告を思いつきました。電力不足が原因で爆発した、というのです。これがインターネット上で「本日のジョーク」となり、皆がこのジョークを言っていました。あれほどのダメージを与える電力不足など、ありませんから。当然原因はイスラエルが発射した地対地ロケットで、使用されたと見られているロケットの名前は、エクストラ。我々は、これをいくつか使用しました。私達のところには、エクストラ、LAR、OMAH (?) がありますが、エクストラの射程距離は 150km、私達にはこれ以上必要ありません。弾頭重量は 120kg です。ですから皆さん、ダマスカスは、非常に慌ただしい夜でした。彼らは、国中で数々の標的が破壊されて、目を覚ました。ダマスカスだけではなく。現在、我々が報道する時には、ダマスカスにフォーカスしていますが、標的は、全部合わせて異なる場所 6 箇所です。

数時間前に、私のアップデートでお話ししましたが、我々は、イランの地位確立を認めません。そして、それが確かに起こったのです。ということで、先週イランの国防相と一緒にやって来た、露骨なロケットの到着に対して、イスラエルが報復しました。あまりにも多くの誤報や、間違った情報が飛び交っていたので、順序立ててご説明しました。これらは北朝鮮製のロケットで、イランがそれを受け取り、それが、イラク国内のいくつかの空軍基地に到着、そこから彼らは、ダマスカスへ密輸し始めました。イスラエルが、この行為を暴露し、異なる 2 つのものを、破壊しました。国防相が、貨物機で持ち込んだロケットを破壊し、また、我々は、イラクでの動きにも目を見張っています。我々がそれ

を知っている事に気づいた時、彼らは向きを変えて、それらのロケットをイラクにこっそり送り返しましたから。

イラク国内でも、現在、ある活動が行われています。それについては、話す事が許されていませんが。きっと皆さんは、それについては、一切聞かないでしょう。内密に事を行う人だけが知っている事です。

ダマスカスでは、何も隠す事は出来ません。たくさんの一般市民が、あちらにいますから。

しかし、イラク西部の砂漠地帯では、隠れて多くの活動を行う事が可能です。

以上が、実際に起こった事です。

シリア全域の、異なる6つの標的、主要なものは、ダマスカスのアルマゼ空軍基地です。

バッシュールアサドの兄弟マヘルは、総督で、第四師団の司令官ですが、彼が重傷を負いました。彼と共に多くのイラン高官や総督達も負傷、中には死亡した者もあり、この攻撃によって、70人以上が死亡しました。その全員が、イラン人、もしくはシリア国内のイランの計画に関わる者達です。この全貌に対するプーチンの反応を、我々は待っていますが、それを見ることになるでしょう。

彼が最も避けたいのは、現在、イドリブでの戦いの前夜でもあり、彼は何がなんでも勝利を発表したいのです。

ですから、今回起こったような事を、彼は、最も避けたかったのです。

我々は、ロシアが軍事演習、軍事作戦を行う前にこれを行う必要がありました。

彼らが、海上で忙しくしている間に、我々は、地上で忙しく、しかるべき対処をしました。

可能であれば、この動画をシェアしてください。そして実際に起こった事を、皆に伝えてください。さらに報告すべき事があれば、必ずご報告します。

現在ヨハネスブルグは日曜の朝で、私は午前と午後、2つの教会で話をする予定ですので、常に可能なわけではありませんが、引き続き、アップデートしていきます。

私は、ツイッターを頻繁に活用しています。ツイッターも、Behold Israel です。

常にカメラの前でお話しする事は出来ませんが、ツイッターなら数分で済みますから簡単です。ですので、ツイッターで Behold Israel をフォローして、アップデートをご確認ください。

ありがとうございます。 God bless you !

南アフリカのヨハネスブルグより、
シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

マヘル・アル＝アサド : Wikipedia 「マーヘル・アル＝アサド」